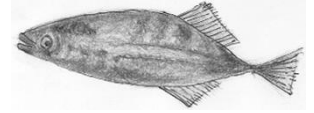


くまがや市民ネット準備会通信



生活クラブ運動の立ち上げ支援を受けています。

2024年4月22日発行 第14号

「希望の給食」ランチ上映会を開催して

2月18日 自然食料理処 田べい(星川沿い) 参加者 21人



映画を観てランチを食べた後、みんなで感想をシェアしました。

この日の自分は、普段とはちょっと違った充実感で満たされ、楽しい気持ちで家路につきました。おいしいものは人を笑顔にするし、古人が言うところの「同じ釜の飯を食った仲」というのかな。今日出会えた人たちと「私のまちの給食」、「安全・安心な食べもの」について、一歩づつ前へ向かっていこう、そんな風に感じました。

今日はスタッフにとっては三回目の「希望の給食」上映会。熊谷市緑化センター、妻沼中央公民館に続いて、何度見ても、この映画は感動が深まります。給食に関する問題をわかりやすく提起し、情報がまとめられていること、登場する人たちがまさに「希望」を発信しているからでしょう。千葉県いすみ市、武蔵野市、長野県松

川町、韓国ファソン市…鑑賞後、「さて、自分の町で、私は、私たちはどう動こうか」、そのように考えるヒントがたくさん語られます。

田べいさん心づくしのワンプレートランチ(桜ご飯、やきとり、焼き魚他、ごちそうさま)を食べ終わった後、参加者ひとりひとりが語り合いました。家族連れて参加してくれたお店の常連さん、ご近所さん、遠方から様子を見に来てくれた生活クラブ・ブロック役員、生産者である地元米澤製油の帰郷後間もない後継者夫妻まで。保育の仕事に携わっている方もいました。毎日どんなふうに暮らしているか、つまり「食と向き合っているか」。自分の体を日々作っている食べものにいていねいに向き合うこと、それはつまり、わが町の、更にはこの国の未来を見据えていることになります。

映画のサブタイトルには「食と民主主義」。全国的に給食に関して、無償化、地元で作った有機野菜の利用など、活動が活発になり、ネットワークも生まれました。ハードルは低く、とてもわかりやすいテーマです。新しくできる熊谷市の給食センターが少しでもいいものになるように、みんなで声を上げていきましょう。
(小川)

【感想】

- ・自校式給食を残したいという署名を提出したが、残さないという返答は変わらない。今作った社会が未来になるので何をすべきか。
- ・給食に全く興味関心がないお母さんもいる。衛生面の改善や地場産、オーガニック食材を入れることは出来るが、同時にアレルギー対応もして欲しい。
- ・最終的にはトップに立つ人や議員の意識につける。
- ・給食に期待はしていない。家で無農薬野菜をとって良いものを食べるようにしている。
- ・給食も教育の一環と考えれば心無い発言はしないはず。
- ・大人がちゃんとやらないと、未来が大変と感じている。今いる議員とタッグを組んで、市長を動かせばいい。
- ・給食というものに興味関心が薄れていたが、もっと関心を持ちたい。
- ・地域住民や行政に言わないといけない。意見を市に届ける必要がある。今の社会では難しいが、出来ることや社会をどう風にするかが大切だ。
- ・少なくとも子どもたちに良いものを食べさせる必要がある。予算を考えないといけない。
- ・少ない給食費で作らないといけないので栄養教諭さんが頭を抱えている。
- ・市民の声がトップまで届かない。

給食活動発表

埼玉県ネットの総会で、現在までの活動発表をしてきました。今回のお題は「給食」とのことで、くまがやもご指名いただきました。「給食ってなんだろう？」…活動しながらずっと思ってたこと。そのままくまがや市民ネット準備会の発表タイトルにしました。

子どもたちのために。この根底はきつとどこの自治体も変わらないはず。けれど、実際に存在している給食は自治体によって随分違う。

それは良いとか悪いとかではなくて。各々の自治体の精一杯かもしれない。環境の違い、規模の違い、方針の違い…色々あると思う。

でも、まだまだできることも、ある気がするのです。

くまがや以外の市民ネットの発表を聴いて、そう思いました。

全国規模で見れば、有機栽培の地場野菜を給食に取り入れている自治体もある。農業を見直して、給食とつなげている自治体もある。アレルギーへの配慮だって、進んでるところも。

自治体の背景はそれぞれ。どれが正解かはわからない。最善の模索も自治体レベルかも知れない。

でも今は、全国各地で給食の見直しが行われつつあります。農林水産省が進めている「オーガニックビレッジ」には、給食への利用も呼びかけられています。かつて、全国給食ワースト1とまで言われた熊谷も、向上してきています。

御存知ですか？給食に出てくるクレープが米粉でできていたり、地場産の農産物も取り入れられ始めていることを。

大切な未来の宝、子どもたち。

「食」が、肉体を作り、心の一端を育て、「自分」をつくっていく。

彼らの食事のひとつである給食がもっと充実したら…未来もちよっと、明るいと思いませんか？

(奥川)

自己紹介

こんにちは！

長沼 郁生(ながぬま いくお)と申します。

熊谷市鎌倉町にあるKUMAGAYA TRAINING LABというパーソナルトレーニングジムで熊谷市民全員を健康かつ姿勢も良い最強市民を創造するべく運動指導してます！最強市民が気になる方は、いつでもお待ちしております！

仕事と共に、熊谷市内にある青年団体にも所属しております。

熊谷というまちをいろんな方と盛り上げていきたいと思い、メンバーになりました。

熊谷のこと、未来をより良くしましょう！

よろしく願いいたします。

(長沼)



メンバー募集！！

くまがや市民ネットワーク準備会では、一緒に熊谷のことを考え市政にも提案していく仲間を募集しています。現在女性6人、男性2人のこぢんまりした会で、月1回集まって市政のあれこれを話しています。現在は給食や農業の話題が中心です。

今のところ全員生活クラブの組合員ですが、組合員であることが条件ではありません。熊谷市をもっとよくしようとする人であれば大歓迎です。以下の連絡先までお気軽にお問い合わせ下さい。(東)